

# ほっと♡ゆうばり

第20号  
2009年  
5月1日

編集・発行：ゆうばり再生市民会議 広報部

## 市民学習会の開催

5月14(木) 18時半～ 市民研修センター(室蘭)

分からないことを分かりたい、知りたいことを知りたい。夕張の現在と明日を考えよう一と始めた市民学習会。第1回「財政再建計画から財政再生計画へ」(2月13日)。第2回は「捨てればゴミ、使えば資源 あなたの考え聞かせて下さい」(4月18日)のテーマで開催してきました。

2回とも身近で切実、そしてむずかしいテーマでしたが、再生会議メンバーと市民の参加、市役所担当者(講師)のご協力で有意義な学習会となっています。しかし2時間余りの時間では問題や課題を十分に理解するまでにはいたりません。特に本市の財政再建(再生)については、難易度が高過ぎて、分からないことが解かった、というありさまでした。

そこで、第1回の「…再建計画から…再生計画へ」の学習会を深めるべく、第3回を「**夕張市の借金353億円**」に関するテーマで開きたいと思います。●この巨大額を市民が返さなきゃなんないのか ●減る一方の人口なのに返していけるのか ●夕張だけに負担を押し付けるのは理不尽だ…●国、道にも責任が……と、いろんな言うに言われぬ思いがあります。

さて、今回は3人の、夕張問題を研究発表している方たちにお話していただき、勉強し、質問し、力をつけたいと思います。

◆とき: 5月14日(木) 午後6時半～ ◆ところ: 市民研修センター

- ◆講師: 河合博司さん(酪農学園大学、地方自治研究、「夕張破綻と再生」共著)
- 田巻松雄さん(宇都宮大学、清水沢生まれ育ち、貧困問題、「夕張学」代表)
- 矢野牧夫さん(道都大講師、沼ノ沢生まれ育ち、文化行政問題)

○この機会に、提言に耳を傾け、意見交換してみませんか○

### ★再生会議を4月10日と17日に開催★

その中身をちょっと紹介します

**福祉分科会**=「命のバトン」導入についてのアンケート調査の結果、必要だと思う方が97%にのぼりました。  
夕張再生には議会の力が今こそ必要、気軽に意見交換できたらいい。

**環境分科会**=4/17に平和運動公園で鹿フン拾い。札幌清田高校の1年生が研修で夕張へ来てのボランティア活動です。  
再生計画について早急に学習したい。

**観光分科会**=「桜まつり」ができました。市内金融機関や公共施設25カ所に見本とアンケート用紙を置いてます。  
「桜美術館」が老人福祉会館と市役所2階で開館です。  
「桜まつり」に参加します。昨年できなかった大夕張と久留喜方面の桜も数えて、本数当てクイズもします。



### あかられ1年、又鹿フン拾い

●愛と汗とでウンつかみ 4/17(金)  
●平和運動公園

- 心配していた天気も味方、春のうららの陽射しの下で、今年もしました鹿フン拾い。
- 札幌は清田高校1年生、ハツラツピチパチ323名、加えてハッスル夕張と市民会議の善男善女。鹿が食した緑の草がお豆のように丸まって、あっちにころころ、こっちにころり、取ってもとつても切りがない。2時間かけて集めたフンは決して汚くありません。
- 市内の花木の肥料となります。ウンコロジ一ならぬエコロジー、ご覧くださいその成果。清田の若人ありがとう。

### ゆうばり桜まつり5/9(土)、10(日)★歴史村キャンプ場で イベント盛り

り沢山 堀内孝雄、杉田二郎のコンサートも 皆集まり楽しみましょう!

①植樹祭、夕張太鼓、ビルダー体験、ジャンケン大会、YASUトーク&ライブ、抽選会 ②ピエロショー、コンサート

4月18日(土)に開催した 第2回の市民学習会は

●**捨てればゴミ、使えば資源「あなたの考え聞かせて下さい」**のテーマで、市民課環境生活担当者を講師に、再生市民会議のメンバーに加え、市民ら30人が参加して、3時間にわたって行なわれました。学習会の内容を記します。

Q **夕張市のごみ排出、処理はどのようになっているのでしょうか?**

年度	夕張市人口	ゴミ出し量(1人1回あたり)	ごみ処理費(1人あたり)
平成18年度	12,631人	1,611g	11,600円
平成19年度	12,068人	1,457g	9,900円
平成20年度	11,633人	1,193g	

\*19年7月から指定のごみ袋が有料。(3人家族で年間8,460円でしたと参加者の声あり)

Q **富野じん芥埋立処分地の見通しは?**

- ①分別を増やさず、今のまま混合ごみと粗大ごみの埋立を続けていくと、平成31年度で埋立終了の予定となります。
- ②容器包装分別を22年度から実施した場合→平成36年度で埋立終了予定。  
\*今の7品目にダンボール、プラスチック製、紙製容器包装の3品目を加える。
- ③生ごみの分別を27年度から実施した場合→平成39年度で埋立終了予定。  
\*汚泥再生処理センター設置(計画)に合わせて生ごみを分別収集。
- ④新たな埋立処分場を建設するとすれば…  
\*準備から使用開始まで約5年かかるのと、十数億円の事業経費が必要。  
\*埋立地延命にかかる経費は、再生計画に盛りこむよう調整・協議している。

参加者からの声、提言、意見が……**どんどん**

- 電池、電球、蛍光管(有害ごみ)の埋立は恐いです。回収のし方を考えてみては。例えば、空いている公共施設に集め保管し、適性な処置をすとか。販売した店舗に回収箱を置いて集め、メーカーが回収するようにする方法。
- プラスチック製容器包装の分別を増やしてほしい。
- 段階的に分別を増やすと分かりにくい。大変でも最初から分別した方がいい。
- 誰にでも分かる分別方法の地域説明会を、こまめに開いて下さい。
- ダイオキシン濃度の心配はなくなったのでしょうか?

～1時間半にわたって、ごみの分け方・出し方等について質疑応答の後、「産業廃棄物処分場」の建設計画についての質問が出されました。配られた資料によ

第2回の学習会が「ミニ・ミニ」(分別・埋立処分地)について学びました。

ると——○「安定型産業廃棄物最終処分場」とは

**安定5品目**→①廃プラスチック類 ②金属くず ③ガラス陶磁器くず  
④ゴムくず ⑤がれき類 などの**産業廃棄物を処分する最終処分場**のことを言います。

その構造は、処分場の汚水が施設外地中への浸出、流出するのを制御するための工作物は法令上不要であり、素掘りの穴だということです。

○処分場設置の手続きは

建設予定業者が許可権限を持つ北海道に手続きをします。夕張では平成19年8月、建設予定業者による地元住民への説明会が行なわれていました。今年に入り処分場について北海道新聞、朝日新聞で報道されています。現在は、業者と北海道とが「事前協議」継続中の段階とのことです。

参加者からの声、意見、要望が……**つぎつぎ**

- ◆市として持っている情報をもっと速やかに公開してほしい。
- ◇**中間処理(有害物質の処理)**はどうなっているのでしょうか。地下水や河川に有害物質が解け出す危険があること、処分場に関する裁判が全国でおきているのに、今なぜ夕張にかと、心配です。
- ◆市外から産廃が運び込まれる不安と、逆に自分のごみを他の地域へ持っていくというのどうなのかな、という思いもあります。
- ◇**安定処分場の実態や、建設手続きについての学習を重ねたい。**一人ひとりが考えなければ、出来てしまって遅かったではすまされないでしょう。
- ◎**ごみ問題、産業廃棄物処分場については、学習会を再度開催しましょう。**

4月21日 市議会行政常任委員会を傍聴して…

1. 「財政再生計画」について、5月下旬、【地域説明会】を数カ所で行なうというが【懇談会】でないのでは、市民の要望は聞いてもらえるのだろうか。
2. 「再生計画案」の件案を市民へ情報公開したらいいのでは、破綻したときも誰も知らされていなかった反省を生かしてほしい、と議員から出されたが、市側はまず議会に出すとの返答だった。
3. ふるさと再生雇用交付金が「ふれあいサロン」に使われるが、3年間しか助成されない。その後はどうするのか。寄付にたよる夕張は大変です。
4. 今回、再生市民会議の活動の報告が初めてされました。
5. 前からお願いしていた「傍聴資料」が用意されていました。1日中難しい話を聴くのも疲れますが、項目のみでも助かりました。これからも傍聴しましょう。